

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県 八百津町

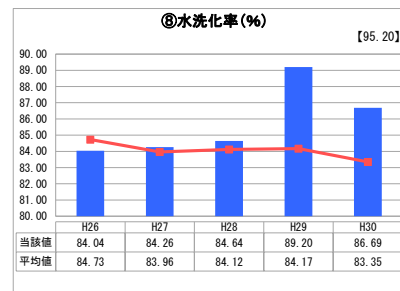
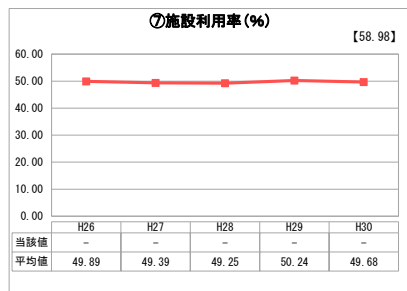
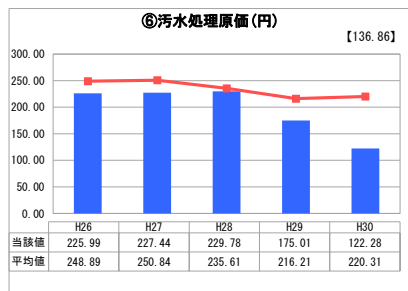
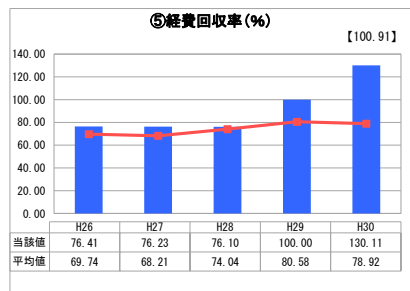
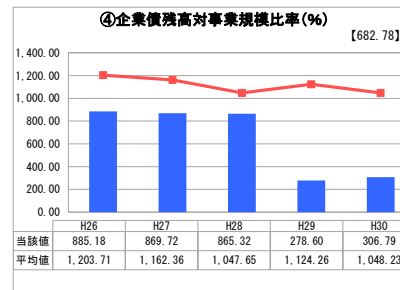
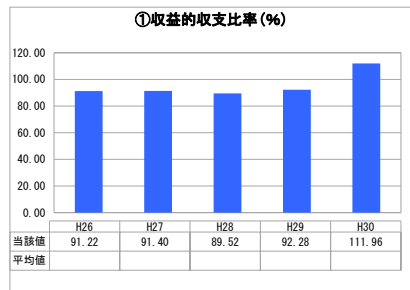
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	76.71	88.54	3,132

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
11,034	128.79	85.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,406	3.88	2,166.49

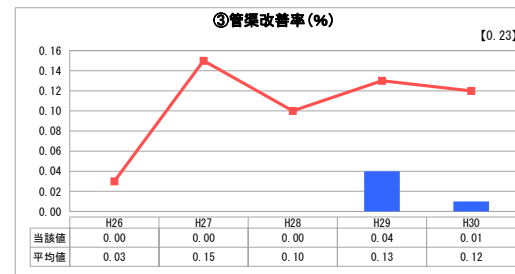
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①法適用に伴う打ち切り決算により4月の支出が計上されておらず収益的収支比率が増加しているように見えますが、料金収入だけでは経営が成り立たず、一般会計からの繰入金で補う状況が今後も続くと思われる。
④算定数値の間違いです。修正した数値での当該値は864.4です。
⑤⑥法適用に伴う打ち切り決算により4月の支出が計上されておらず、汚水処理費が減少している為。
⑧人口減少により減少。

2. 老朽化の状況について

平成9年度に供用を開始し、管渠については定期的に清掃や補修を行っている為、直ちに修繕が必要なものはありません。マンホールポンプ等の機械設備については老朽化が進み、マンホールポンプの修繕や更新工事を行っています。

全体総括

一般会計からの繰入金を頼りにしており、人口の減少傾向により料金収入の増も見込むこともできません。また、マンホールポンプ等の修繕や、機器更新が続くと考えられます。これを踏まえ、令和元年度からの法適化による経営状況の「見える化」を図り正確に経営状況を把握し、経営戦略を再度策定します。その結果を踏まえ経営戦略を再度策定し、料金改定を含めた経営の見直しを行う予定です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。